

眞柄 利香

RIKA MAGARA

大阪生まれ

東京育ち

平成2(1990)年 新得町に移住

平成8(1996)年 小樽市に移住

平成18(2006)年から小樽市総務部広報広聴課嘱託員(現会計年度任用職員)

平成24(2012)年より一眼レフで撮影をはじめ

平成29(2017)年1月~2月

小樽市総合博物館企画展関連事業「あなたは小樽を知っていますか?アマチュア写真家がみつけた宝物」展

平成30(2018)年

グループ展茶廊法邑写真展「平成オタ・オル・ナイ」参加

令和元(2019)年6月

グループ展 Photo de Paysage 写真展「詩季彩展」参加

令和2(2020)年8月・令和3(2021)年2月

Unga plus gallery 個展 Scene of Otaru・Scene of Otaru 2 Yuki no irodori

令和4年(2022)年

小樽市制施行100周年記念事業 大丸札幌店 NEO OTARU MARKET 写真展「#小樽暮らし」



息を吹き返す(北海製罐第3倉庫)

港湾荷役の利便を計るために、1923(大正12)年に完成を見た小樽運河は、明治期の石造倉庫群の前面に構築されたため、長い歴史のなかで運河と倉庫が混然一体となって、黄金期の小樽を象徴するものとなりました。

2023(令和5)年、「小樽運河100年」を記念し、当館は、運河を描いた収蔵品とともに、さまざまなアーティストによる芸術作品をご紹介します。

このたび、小樽市在住の写真家・眞柄利香の運河写真に着目いたしました。眞柄の写真は、長い運河論争が終わって小樽活性化の核となっていく新しい運河とその周辺にあります。日常的に運河に通い身近な存在となった運河から、さまざまな情感や美を見いだしています。眞柄の視点は新鮮であり、同時代を生きる私たちにとって、深く共感できるものです。

本展は、運河をテーマとした眞柄利香の自選写真を中心に展覧いたします。

小樽市では公式Instagramを開設することになり、私は小樽市公式Instagram「小樽暮らし」に写真と文を掲載する、いわゆる「中の人」になりました。観光地としての魅力ではなく、市民として感じる小樽の魅力を多くの人と共有するために「#小樽暮らし」というハッシュタグが生まれました。

しかし、常に新しいものを掲載し続けなければならないInstagramの写真は「消費される写真」でした。

毎年同じ構図の似たような写真を撮影し、SNSに掲載し続けた結果集まった多くの運河の写真。

旬が過ぎ、過去のものとなり、見向きもされなくなった写真が、撮影から5年、10年と経った今、それらは経年劣化したものなのか、経年で価値が変わったものなのか。そんな実験的な要素も含めた展示としたいと思います。

眞柄 利香

冬の花(北運河)

【同時開催】Collection ストーリー③ 羽山雅愉の見つめた運河

6月28日(水)~7月2日(日) 市立小樽美術館・市民ギャラリー



大雪の日(浅草橋付近)



月と火星(中央橋から)



筋綱(北運河の解)